

○井上義行君 是非PFIを活用して、ちゃんとしっかりとこういうことができるということになれば大きく財政負担も軽くなっていくというふうに思っておりますので、是非徹底したそうした指導をしっかりとしていただきたいというふうに思っております。

そこで、私は、持論なんですけど、この施設あるいは道路あるいは鉄道、様々ないろんな公共施設がありますが、三十年後の国内輸送の分担の在り方とか、そういうのも私は議論した方がいいんじゃないかというふうに思っております。

というのも、私も昔国鉄にいた人間だったものですから。リニアモーターカーが今度現実になるわけですね。そうすると、名古屋まで五十分掛からないという形ですか、もう小田原と熱海と同じぐらいの距離になるわけですね、新幹線でいうと。そして、大阪までつなると一時間ということになると、リニアモーターカーとそれから飛行機のどういう役割が変わってくるのか、あるいは輸送手段も、高速道路としてなっていくのか、それとも小型の飛行機がどんどんどんどん、今日本の国内でもいろんなこと起きていますね。そうすると、どういう形で三十年後をにらんでこの整備をするということになってくるのかなというふうに思っております。

そこで、例えば海外でどこから今後資源を輸入していくのかとか、あるいはどこの国に開拓をしてやっていくのか、それによっても道路の計画ということも変わってきますし、あるいは船舶の在り方ということもいろいろ関係が出てくると思うんですね。本来であれば、こうした三十年後の日本の形を考えながら、道路であるとかあるいは空港の整備であるとか、あるいは輸送の分担であるとか、あるいはいろんなドローンとかいう話が出ていますね、そうすると、ドローンでもう荷物を運んじゃおうという時代もすぐそこにやってくるということになると、どれを優先してどれをやっていかなきゃいけないのかということがあって、じゃ、これはいわゆるPFIを活用していきましょう、これはやはりPFIにはちょっとなじまないとか、そういう整理というものは何か必要になってくると思うんですが、まず審議官に今の考え方、どういうことを考えているのか、ちょっとお伺いしたいと思います。

○政府参考人(鳥巢英司君) お答えします。

PFI事業をどういうふうに活用していくかというのは、これもまた繰り返しになって恐縮でございますけれども、民間の資金と創意工夫を活用してきちんと効果があるものということになります。したがって、何でもかんでもということではなくて、要するに、例えば先生が今おっしゃったいろんな交通モードの中とか、あるいはいろんな施設があるわけですが、それで、民間にやらせるとこれは民間の知恵を出しやすい事業だとか、あるいは民間の経営力を生かすと非常に効率化が進んで大変なVFMが出るとか、そういったことがきちんと事前に検証されるものに取り組んでいくということ

になろうかと思えます。

したがって、一般論、これはこれ、あれはこれと事前に決めることはなかなか難しいんですけれども、そういう事業があったときに、その事業の性格をよく見て、事前にきちんと分析をして、PFIを使うか従来型の事業でいくのか、これはそれぞれの所管省庁の中で決めていくことになるんじゃないかというふうに思っております。

○井上義行君 甘利大臣にお伺いをしたいんですが、今TPP交渉もやっています。新たな日本の形がいろいろ議論されている中で、やっぱり私は、三十年後をにらんで、どういう日本の姿、その逆算で今からこういうふうやっていこうということが私は必要だというふうに思っているんです。だから、今、この日本の中で経済のかじ取りをしているのは甘利大臣でございますので、やはりこうしたPFIも含めて将来の三十年後の姿を見て、じゃ、今これからスタートしようということが、発想があっていいと思うんですが、大臣の決意をお願いしたいと思います。

○国務大臣（甘利明君） 先生御指摘のとおり、輸送手段は今まで高速道路とかあるいは高速鉄道、空港、船舶、そこに超高速のリニアが参画をしていくというのが現状でありますので、三十年後を見据えてどうかというのは、なかなか三十年後はどんな技術革新があるかなかなか予測しづらんですが、新しい交通手段も入ってくると思います、御指摘の、新しい輸送手段ですね、ドローンを使ってなんというのも十年前にはなかった発想でありますし、自動車も自動走行というようなことで、より、ファン・ツー・ドライブというよりも、交通手段としての機能というような発想が入ってきたり、いろいろ入ってきますから、今からこれとこれが何割でこれが何割というのを規定するのは難しいと思います。

時代に即して、時代の技術開発に即してそれを割り振っていくということになると思いますが、その基本としては、人に優しく使いやすい交通であるとか、あるいは国内外との効率的な人の移動や物の輸送に資するとか、あるいは持続可能で安心、安全な輸送基盤、環境への配慮とかいろいろありますけれども、そういうキーワードの中で、新しく参入してくる輸送手段が最適にそれに当てはまるような政策運営が必要じゃないかというふうに思っています。

○井上義行君 是非、技術革新を、それを見越して、今これをやれば無駄がなくなるとかいう、その視点を是非取り入れていただいて新たなPFIの形もつくっていただきたいというふうに思って、終わりにします。